

サポーターの活動紹介

小平市立上水中学校でテニスの部活動指導員をされている山崎和博さん取材しました。外部指導員の山崎さんは、都立高校の保健体育教員の退職を機に、テニスの指導に関りたいとの思いから機構に登録されました。取材当日、コートには、山崎さんの丁寧な声掛けが響いていました。

小平市立上水中学校



校長 齋藤 信之 先生

4月の全校生徒数315名

教育目標 ○自ら考え、進んで実行する人
○心豊かで思いやりのある人
○心身ともにたくましい人



部活指導中の山崎和博 さん



Q. 中学校を指導することになっていかがですか。

A. 初めは戸惑いましたが、中学生は純粋で、素直に対応してくれます。私も指導の原点に戻る事が出来ます。引き続き活動を継続して行きたいと思います。高校生もやりがいがありますが、中学生から始めれば生涯スポーツにつながると思います。

Q. 学校をサポートしたい方に助言がありますか？

A. 専門家が学校に来ると生徒には高い教育効果があります。しかし、スポーツ施設のインストラクターではありません。学校には正顧問の指導方針もあります。方針を逸脱せず、保護者の思いや生徒の安心・安全も考慮して活動することが大切だと思います。



副校長 植木先生

副校長先生へのインタビュー

Q. サポーターを採用することになったきっかけは？

A. 生徒のニーズに応えるように部活を開設したかった。顧問教諭がテニス指導の専門ではなかったので、指導はテニス専門の方をお願いしたいと思ったからです。

Q. サポーターについては？

A. 初心者から都大会参加レベルの生徒にまで週3日対応していただいている。一般には気が付きにくい施設の安全面にも、きちっと配慮した指導をされています。

Q. 今後の外部指導者の活用は？

A. これから水泳指導がはじまるが、補助員を学校で探さないといけない。TEPROの力を借りられればありがたいと思っています。

Q. 登録されていない学校へのアドバイスをお願いします。

A. 学校は急に人が必要になることがあります。さまざまな学校ニーズに対応してもらえるので、まずは登録されると良いと思います。

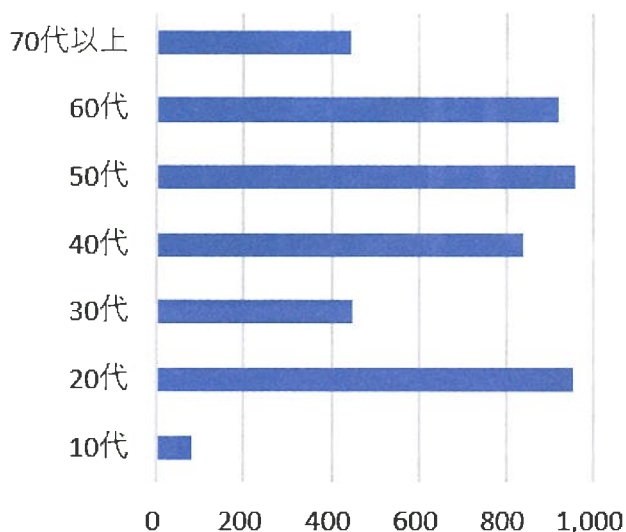


部活後の総括講話

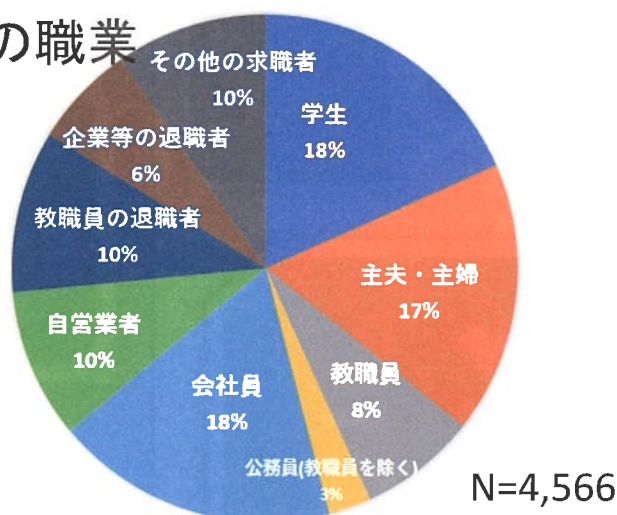
サポーター登録状況 (2021年5月末)

個人4,566人 団体77団体3,880人 計 8,446人

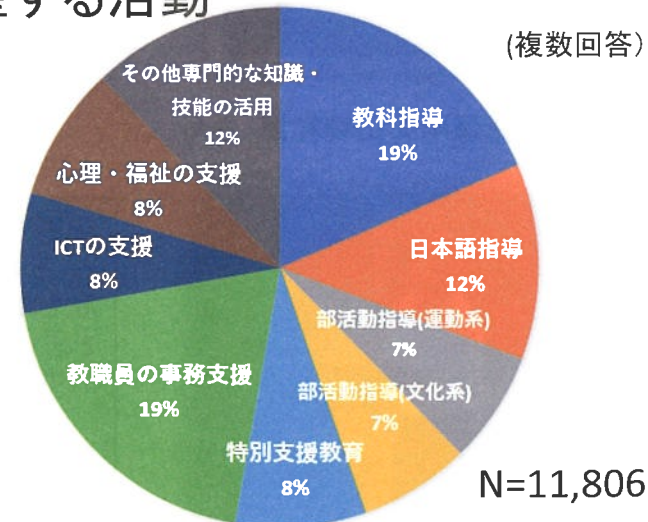
サポーターの年代



現在の職業



希望する活動



* 希望活動形態 (複数回答)

有期労働・パートタイム	3,040
有償ボランティア	3,363
無償ボランティア	1,984